

2025年3月11日

連合町内会
会長 西宮哲夫 様

駒寄町内会
会長 松村和彦

祭礼の開催時期変更に関する意見書

平素より駒寄町内会活動にご支援、ご協力いただきありがとうございます。

さて、例年7月の第3週頃に実施している祭礼について、近年の夏季の猛暑を鑑み、参加者の健康と安全を考慮するという考えに立ち、理事会で協議した結果、以下のとおり意見を取りまとめました。

つきましては、意見書として提出しますのでご検討下さるようお願い申し上げます。

1 開催時期の変更について

これまでと同等内容の祭礼を持続するのであれば、春や秋（5月、10月）など涼しい時期に変更するのが安全と考えます。

2 内容の変更について

もし実施時期の変更が難しい場合、祭礼の内容を変更することを希望します。例えば、御霊入れでは各町内は神社に集まらず、宮司が各町内を回る形式にするなどの工夫が考えられます。

3 熱中症リスクの現状

現在、御霊入れに参加していない子どもであっても熱中症になるケースが見受けられます。また、神輿や山車のルート短縮や活動時間短縮は、お囃子を練習してきた子どもたちの披露の機会が失われることにもなります。これまでどおりの内容で実施するためには、涼しい時期に変更する方が望ましいと考えます。

4 涼しい時期の利点

涼しい時期であれば、日中の暑さで疲弊することが少なく、終盤まで体力が維持されるため、祭礼がより一層盛り上がると期待されます。

以上の理由から、祭礼の開催時期を春や秋に変更することを強く希望いたします。